

ご相談窓口

●医薬品や家庭で使用する医療機器について

独立行政法人医薬品医療機器総合機構 (PMDA) 医薬品・医療機器相談室

くすり相談

薬の使用法、副作用、飲み合わせやジェネリック医薬品に関する相談

☎ 03-3506-9457

医療機器相談

家庭で使用する医療機器の使い方の注意など

☎ 03-3506-9436

受付時間：月曜日～金曜日（祝日・年末年始を除く）9:00～17:00

ホームページ <http://www.info.pmda.go.jp>

●医薬品等による副作用被害や感染被害などを救済する制度について

独立行政法人医薬品医療機器総合機構 (PMDA) 健康被害救済部救済制度相談窓口

☎ 0120-149-931（フリーダイヤル）

受付時間：月曜日～金曜日（祝日・年末年始を除く）9:00～17:00

ホームページ <http://www.pmda.go.jp>

E-mail kyufu@pmda.go.jp

おくすりの情報

薬に関する法令、通知、統計、報道発表など、おくすり情報のポータルサイト

ホームページ <http://www.mhlw.go.jp/bunva/iyakuhin/okusuri/index.html>

■パンフレットは、グリーン購入法(国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律)に基づく基本方針の判断基準を満たす紙を使用しています。

■リサイクル適性の表示紙(ペリサイクル可)

パンフレットは、グリーン購入法に基づく基本方針における「印刷」に係る判断の基準にしたがい、印刷用の紙へのリサイクルに適した材料[Aランク]のみを用いて作製しています。

薬、正しく使って
健康ファシリ-

知って
おきたい
クスリ

薬の

知識

目次

- 薬を安全に使うために
- 薬の正しい使い方 その1
- 薬の正しい使い方 その2
- 薬の正しい使い方 その3
- 薬の専門家にご相談ください
～お医者さんにかかったとき～
- 薬の専門家にご相談ください
～市販の薬を買うとき①～
- 薬の専門家にご相談ください
～市販の薬を買うとき②～

平成26年10月

厚生労働省 日本薬剤師会

薬の正しい使い方

その2

薬の説明文書

医師が処方した薬でも、市販の薬でも、薬には必ず説明文書がついています。

説明文書には、用法・用量、効能・効果などの他、使用上の注意や副作用に関することが記載されています。必ずよく読んでから使用する習慣をつけましょう。また、説明文書は捨てずに保管し、必要なときにすぐ読めるようにしておきましょう。



高齢者が薬を使用するときは

高齢者は、血圧の薬や心臓の薬など、複数の薬を併用することが多く、使用期間も長くなりがちです。
また、薬の代謝や排泄に関わる肝臓、腎臓などの働きが弱くなっています。このため、薬が効きすぎたり、思わぬ副作用が現れることがあります。
高齢者は、薬の使用量など特にその使い方に注意する必要があります。医師や薬剤師などの専門家から十分に説明を受け、正しく使いましょう。

Q3. どれくらいの量の水で薬を飲めばよいですか？

A3. コップ1杯の水で飲むのが目安です。
少量の水では、薬がのどや食道に張り付いて炎症や潰瘍を起こすことがあります。
なお、医師から水分摂取の制限を指示されている方は、その指示に従った飲み方をしてください。



薬の正しい保管のしかた

子供の手の届かないところに保管

子供の誤飲事故のうち、医薬品・医薬部外品によるものが約15%に上ると報告されています※。誤飲を防ぐために、薬は子供の手の届きにくいところに置きましょう。

※厚生労働省「家庭用品等に係る健康被害病院モニター報告」（平成24年度）

湿気、日光、高温を避けて保管

薬は湿気や光、熱によって影響を受けやすいため、保管には注意が必要です。容器のふたや栓を固く締め、直接日光が当たらない、かつ暖房器具などから離れた場所に保管しましょう。また、冷蔵庫で保存するように指示された薬は、凍らせないように注意しましょう。



古い薬は廃棄する

薬は時間がたつと分解したり、場合によっては成分が変質して本来の効果が得られないものもあります。そのため、有効期間を過ぎたものや、見た目に異常がある薬は使用しないようにし、捨てましょう。



その他、誤って使用しないよう、食品、農薬、殺虫剤などと一緒に保管したり、他の容器に入れ替えて保管しないようにしましょう。